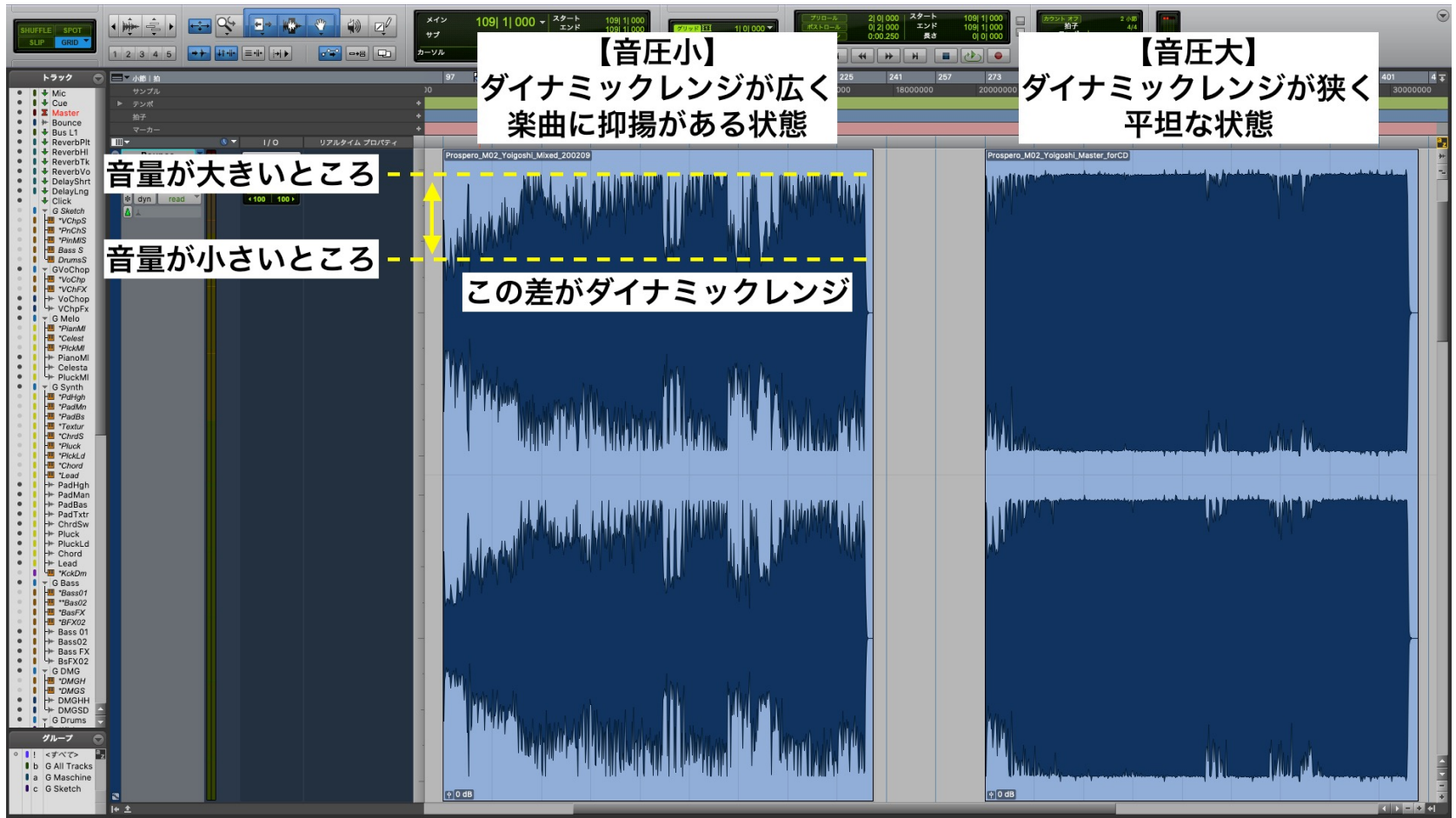


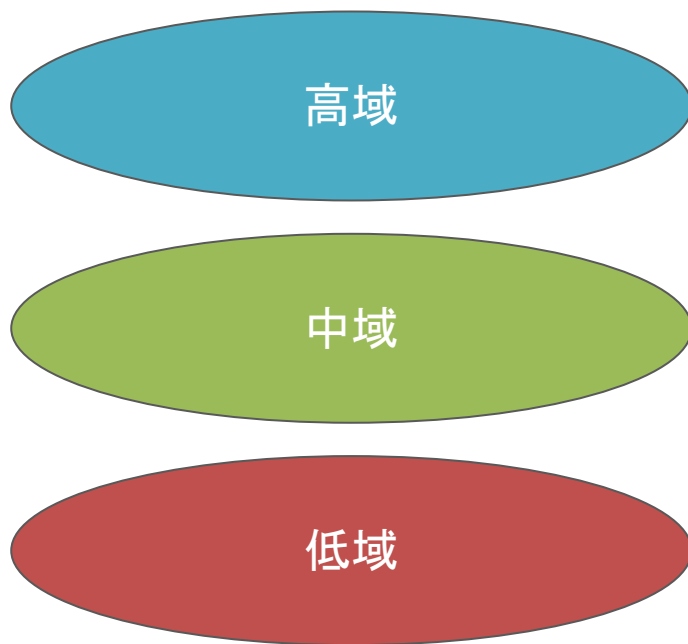
## ② 音圧に対する 理解を深めよう

# 音圧とダイナミックレンジ

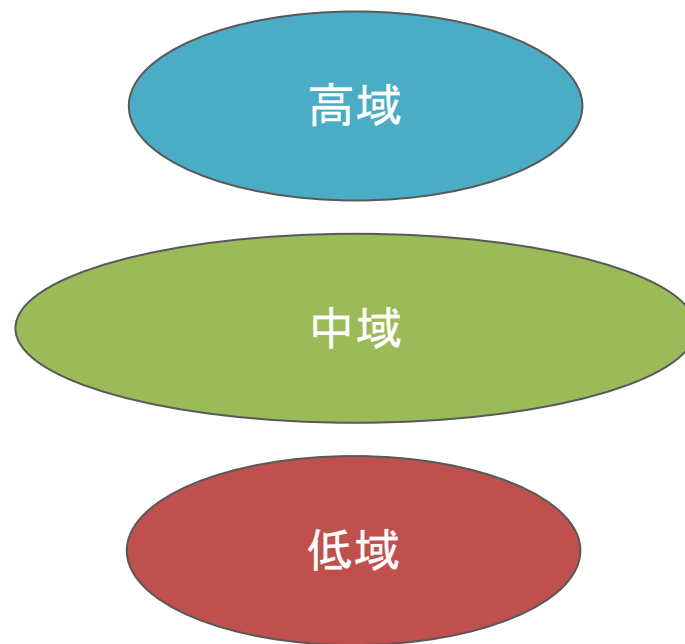


# 音圧とサウンドの関係性

大きめの音量



小さめの音量



大きい音量で聴いたほうが高域や低域がしっかり聴こえるため良い音に聴こえる。

# 音圧を上げることのメリット & デメリット

## 【音圧を上げることのメリット】

- 音圧の低い楽曲に比べて、良い音に聞こえやすい
- 小型の再生システムで聴いたときに周波数レンジが広く感じる
- 他の楽曲よりも目立って聴こえる

## 【音圧を上げることのデメリット】

- ダイナミックレンジが失われ、抑揚のない仕上がりになる
- 大型の再生システムで聴くほど音量バランスや音像が崩れやすくなる
- うるさく聴いていて疲れてしまう

# メディアによる音量基準の違い

プラットフォーム	ラウドネス規定値
CD	特になし(-12~-8LUFS程度)
Apple Music	-16LUFS
Spotify	-14LUFS
Amazon Music	-13LUFS
Youtube	-14LUFS
AWA	-9LUFS
SoundCloud	-14LUFS

配信では、上記のラウドネス値を超えると強制的に音量が下げられてしまう。(下回る場合、音量はそのまま。)CD用と配信用の2種類を作るのがオススメ。その場合、-12LUFS~-14LUFS程度で作っておけば、どのプラットフォームでもそこまで問題なく再生される。